

平成20年度 こどもログハウス事業計画書

I、瀬谷区区民利用施設協会の経営方針

平成19年度は、瀬谷センターの管理運営実績に関し第三者評価において全般にわたり高い評価を得た。平成20年度においては当こどもログハウスも第三者評価を受けることとし、瀬谷センターに負けぬように、引続き下記の方針の下に運営の効率化と利用者サービスの向上に向けて運営努力を続けて参ります。

II、こどもログハウスの管理運営事業

こどもログハウスの管理運営事業を次により実施する。

1、施設概要

- | | |
|----------|--|
| (1) 施設名 | 横浜市 瀬谷中央公園 こどもログハウス |
| (2) 所在地 | 横浜市瀬谷区本郷二丁目28番地4 |
| (3) 建物概要 | ①、竣工時期 平成 5年 5月 |
| | ②、構造 木造（小屋裏あり） |
| | ③、階数 地上1階建 |
| | ④、延床面積 274.899 m ² |
| | ⑤、施設内容 1階：エントランススペース、活発なスペース、静かなスペース、小さなアルコーブ、小屋裏スペース、小屋裏迷路、地下迷路、倉庫、トイレ、水飲み場、見守る人のスペース（事務室） |
| | ⑥、屋内遊具 スパイラル・スライダー（滑り台）、バスケット・ゴール、登り棒、ハンモック、ネット階段、こどもエレベーター、はしご、こぶし付きロープ、板壁登り、すのこ橋、ネットチューブ、丸太平均台 |
| | 屋外：駐輪場、 |

2、こどもログハウスが行う業務内容

- (1) こどもログハウスの運営に関する業務
- (2) こどもログハウスの維持管理に関する業務
- (3) こどもの健全育成のための自主事業の実施に関する業務

3、管理運営事業の人員体制

- ・ 連絡員を含むスタッフによるローテーション体制・・・・・・10名

計10名

III、こどもログハウスの管理運営方針

【運営への反映の考え方】

上記の設置目的を達成するためには、利用するこども達の声や保護者の声を聞きつつ、地域の運営委員会の議論を通じて、地域ニーズやこどものニーズを的確に把握し、管理運営や事業の実施に反映させていくことは極めて大切なことと考えています。

- (1) こどもログハウスの設置目的は「以前のこども達は、身近な野山の自然の中で日が暮れるまで走り回って遊び、学んで育ってきました。勉強は大事ですが遊ぶことも大切です。テレビゲームだけでなく、友達同士が集まってワイワイと遊ぶのも楽しいものです。こども達が、身近なところで木の温もりを感じながら自由に集い遊ぶことにより、子供同士の遊びを通じて、家庭では体験できない創造力や表現力を育む屋内公園施設です。」
- (2) これらの活動をきっかけに地域コミュニティの醸成、地域連帯意識の形成を図っていくため幼児が、気軽に利用できる区を中心部方面の施設として管理運営を進めます。

【地域ニーズや利用者ニーズの捉え方】

- ・ 地域関係団体を代表する委員で構成される運営委員会を活用してニーズを把握します。
- ・ 施設情報誌の発行やホームページの開設等で情報発信に努め、地域ニーズを把握します。
- ・ 地域住民利用者との日常対話の中から地域ニーズを把握します。
- ・ 利用者アンケートを実施し、地域ニーズや利用者ニーズを把握します。
- ・ 館内に「ご意見箱」を常設し、地域ニーズを把握します。

IV、地域及び利用者のニーズを踏まえたうえでの運営の考え方

- (ア) 施設運営には「安全第1」に運営に努め、安心して利用できるように努めます。
- (イ) こどもログハウスの運営を通じて、こども達の成長を見守り、地域の若いお母さん達の子育て支援の一助に役立ちたいと考えています。
- (エ) こどもログハウスの利用を通じて、家庭や学校では体験できない自然と木のぬくもりのある世界でこども達だけの世界の社会勉強をしてもらい、将来の成長に期待したいと考えています。
- (ウ) 社会や家庭環境が変化していく中で、日本の良き伝統・文化・風習等が、家庭では出来ない又は無くなっていく傾向にあります。そこで、こどもログハウスでは特長として、自主事業を通じてこれらの行事を実施して参ります。

(ア) サービスの提供に関する基本的な考え方について

地域のこども達の遊びやコミュニケーションの拠点として、安全・安心な“良き遊びの場を提供”し、きめ細かな注意をもってこども達の成長を“見守りサポートして行く”ことが「サービス」と考えます。

(1) 職員の意識改革の推進

- ①、職員全員が「施設の管理者」から「サービス提供者」への意識改革を実践して行きます。

(2) 職員の資質の向上

- ・ 接遇研修・運営実務研修・人権啓発等各種の研修を実施して行きます。
- ・ 施設間で適切に人事交流や登用等の人事措置を検討して参ります。

(3) 利用環境の整備・向上

V、自主事業の実施計画

平成20年度の自主事業企画は次ページのとおりですが、平成20年度予算と地域や利用者ニーズを勘案しながら効率的に事業を実施してまいります。

平成20年度 自主事業計画

瀬谷中央公園こどもログハウス

行事名	開催時期	回数	参加人数	金額
こいのぼり	4月中旬～ログ敷地内	1	0	0
スタンプラリー	5月	1	250	37,000
やきいも会	11月	1	150	20,000
クリスマス会	12月	1	100	30,000
豆まき	2月	1	100	2,000
新入生お祝いワッペン	3月	1	100	3,000
作ってみよう (こいのぼり、七夕、夏休み、おだんごづくり、凧作り、おひなさまなど、時期に合わせて実施する。)	5月～3月	7	350	12,000
落書きコーナー	4月～3月	1	600	3,000
マイ花壇	4月～3月	1	50	5,000
おはなし会	偶数月	6	300	0
計		21	2,000	112,000

こどもログハウスの管理に関する業務の収支予算書

(単位:千円)

		内 訳	金 額
収入合計(A)		①+②+③=A	6,437
項 目	①指定管理費	人件費～管理費分 事務経費	
		①小計	6,437
	②利用料金収入	充当分 ニーズ対応分	
		②小計	0
	③その他収入	雑収入、事業収入等	0
支出合計(B)			6,437
項 目	人件費	常勤職員給与、スタッフ賃金、アルバイト賃金 通勤手当、社会保険料等	4,899
	事務費	消耗品費、通信費、備品購入費、図書購入費 損害賠償保険等	265
	事業費	自主事業費	112
	管理費	清掃費、修繕費、機械警備費 消防設備費、電気設備費 その他保全費(植栽、廃棄物等)	433
事 務 経 費	租税公課等	消費税	230
	ニーズ対応費	運営委員会や利用者のニーズにより執行	0
	指定管理 費より支出	事務局経費	498
	利用料金 収入より支 出	管理費充当分	0
	収支(A)－(B)		0